

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び成果

No	補助・単独	交付対象事業の名称	担当課	事業計画(①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充てる経費内容 ③事業概要(対象数、事業費) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 開始	事業 終了	A						補助対象外 経費 (円)	事業の実施状況	成果目標	成果実績	
							合計	総事業費 (円)	補助対象 事業費 (円)	C 国庫補助額 (円)	D 交付対象経費 (円)	E 起債予定額 (円)					F その他 (円)
1	単	防災情報配信事業	総務課	① 避難所開設に関わる自主防災組織役員等や指定避難所に対して「防災行政無線の戸別受信機」を配布・設置することで、情報等のスムーズな伝達を実現し、コロナ禍における円滑な避難生活の実現を図る。 ② 戸別受信機(デジタル波対応) 購入費 ③ 105個×@59,400円=6,237,000円 ④ 避難所開設に関わる自主防災組織役員等や指定避難所	R3.7	R4.3	6,237,000	6,237,000	0	345,124,000	0	184,953,460	0	■戸別受信機(デジタル波対応) 105個×@59,400円=6,237,000円 ※指定避難所35箇所へ3個ずつ設置	戸別受信機配布数 105個	戸別受信機配布数 105個 (各地区自主防災会役員宅へ無償貸与)	
2	単	災害備用品整備事業	総務課	① 避難所内での感染症のまん延を防ぐため、熱発者、清潔靴着用用の消毒スペース内に各スペース専用の自動手洗い式トイレ及び簡易トイレを追加購入する。また、車中泊、分散避難者対象とした、水や食糧等の備用品を購入するほか、公共施設における感染症対策に取り組み。 ② 簡易トイレ、自動手洗い式トイレ、災害備用品の購入費 ③ 避難所の感染症対策・7,073千円 ※簡易トイレ @20,350円×80個=1,628千円 ※自動手洗い式トイレ @211,800円×25個=5,445千円 ④ 車中泊、分散避難者対策・3,740千円 ※(災害備用品:水(7,200本)、クワッカー(4,500個)、おむつ(2,000枚)、貯水タンク(2.4kℓ)、哺乳瓶(100本)、おむつ(1,200枚)) ※(車中泊500人分及びホテルへの分散避難者用300部屋分と想定) ⑤ 公共施設での感染症対策・10,000千円 ※半導体消毒機、物品消毒機 2,700千円 ※アクリル板社切り、非接触型体温計 1,300千円 ※タブレット型非接触温度計、オゾン除菌器 6,000千円 イ+ロ+ハ=20,813千円 ⑥ 公共施設及び市内指定避難所	R3.6	R4.3	11,849,512	11,849,512	0	11,849,512	0	0	0	0	■避難所での感染症対策 計7,073,000円 簡易トイレ @20,350円×80個=1,628,000円 (既購入数25個) 自動手洗い式トイレ @211,800円×25個=5,445,000円 (既購入数10個) ■車中泊・分散避難者対策 計3,312,389円 クワッカー @108円×7,200本=777,600円 水 @2,400円×450本=1,080,000円 米飯 @284.6円×1,800食=516,270円 おむつ @167.4円×1,200枚=200,880円 液体ミルク @1,953.2円/セット×28セット(168本分)=54,809.76円 哺乳瓶 @1,595円/セット×30セット(150本分)=47,850円 おむつ(大人用) @23,650円/セット×6セット(62枚分)=141,900円 おむつ(子ども用) @16,830円/セット×5セット(63枚分)=104,150円 ■公共施設での感染症対策 計11,464,123円 フェイスシールド @2,420円/セット×100セット(100枚分)=242,000円 体温計用乾電池 @878円/セット×3セット(52本分)=456,660円 除菌剤アルコール@13,154.2円/瓶×8瓶(1800分)=119,389.6円 本庁用用アクリル間仕切り @11,000円×100枚 =1,100,000円 消毒液用アクリル間仕切り 75,900円 カーマカマルパ (設置費) 145,000円	避難所対策物 品配備可能 避難所数 35箇所	感染症対策物 品配備可能 避難所数 35箇所
8	単	テレワーク支援事業	商工観光課	① コロナ禍における新しい生活様式の一環としてテレワークを推進しているため、市内事業者及び市民が実施するテレワークの取組みに対して支援する。 ② テレワーク実施に係る必要な経費への助成金 ③ イ 企業テレワーク支援: 3,000千円 ※補助率2/3、補助上限300千円 ※テレワーク環境整備等補助 300千円×10社 ※従業員PC整備、システム構築、専門家派遣費用等 ロ 市民のテレワーク支援: 4,000千円 ※トライアルオフィス管理委託 2,440千円 ※テレワーク 1,040千円 ※テレワーク環境整備 ハ 市内企業のテレワークビジネス支援: 3,000千円 ※補助率2/3、補助上限300千円 ※テレワークビジネスPR費用補助 300千円×10社 ※チラシ印刷、ネット広告など宣伝広告費 イ+ロ+ハ=10,000千円 ④ 市民及び市内事業者	R3.4	R4.3	7,337,000	7,337,000	0	7,337,000	0	0	0	0	■企業へのテレワーク支援 補助金額合計 5,911千円(事業所数: 23事業所) ■市民へのテレワーク支援 トライアルオフィス管理委託料 890,000円 セミナー、環境整備委託料 946,000円 合計 1,836,000円	テレワーク機 器等環境整備 支援事業所数 23事業所	テレワーク機 器等環境整備 支援事業所数 23事業所
12	単	電子版プレミアム付 商品券発行事業	商工観光課	① 新型コロナウイルスの影響を受け地域経済活動が縮小していることから電子版のプレミアム付商品券を発行し、市内店舗での消費喚起を図る。電子版1セット13,000円分を10,000円で販売(0.0007のプレミアム)。 ② 電子版プレミアム付商品券相当額及び発行に要する事務費 ③ 商品券相当額 13千円×15,629セット=203,177千円 ロ 事務費 11,188千円 (システム改修等: 5,500千円、カード制作: 2,500千円、決済手数料: 2,022千円、PR経費: 1,156千円) ハ 販売収入額: 156,290千円 ニ 市費負担: イ+ロ+ハ=58,075千円 ④ 魚津市長	R3.4	R4.3	211,878,758	211,878,758	0	26,925,298	0	184,953,460	0	■換金額 202,208,464円(うちプレミアム46,018,464円) ■事務費 システム導入運営 3,100,000円 カード制作 1,848,000円 決済手数料 2,031,710円 PR経費 2,590,524円 合計 9,569,234円 ■販売額 15,629セット(販売額156,290千円)	商品券販売者 数の 約20,000人	商品券販売者 数の 約15,629人	
13	単	受入体制整備事業	商工観光課	① 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、落ち込んだ市内宿泊需要を喚起し観光関係事業者支援につなげるため、宿泊料金の一部を助成する(まん延防止等重点 施策地域等対象のみ、事業を一時停止していたことから 期間を延長(R03.9-R04.3)して実施) ② 市内宿泊施設を利用者一泊あたり3,000円を助成。 ③ ※イ+ロ+ハ=21,000千円 イ 公費負担: 2,000千円 ロ 事業者負担: 1,000千円 ハ 広告費: SNS広告費、広告デザイン、SNS広告費、SNS広告費取次手数料、パンフレット代、385千円 等) イ+ロ=65,000千円 ④ 富山県、石川県、岐阜県、長野県、新潟県及び福井県の在住者	R3.4	R4.3	61,564,060	61,564,060	0	61,564,060	0	0	0	0	■宿泊割引事業補助金 59,595,000円 ■ハンフ・ポスター作成代 1,848,000円 ■広告デザイン等 166,600円 合計 61,564,060円 ■宿泊割引適用人数 20,455人	助成制度利用 宿泊者数 の約16,200人	助成制度利用 宿泊者数 の約20,455人
16	単	プレミアム付飲食券 発行事業	商工観光課	① 新型コロナウイルス感染症の影響により売上げが大きく減少している市内飲食店での消費喚起を促すため、プレミアム付飲食券を発行するもの。飲食券(7,000円分)を5,000円で販売、10,000円を販売する。 ② 飲食券プレミアム付相当額及び事業委託費 ③ プレミアム付相当額 19,882千円 ロ 販売・換金等事務委託費 6,400千円 イ+ロ=26,282千円 ④ 魚津市長	R3.4	R3.9	26,281,714	26,281,714	0	26,281,714	0	0	0	0	■プレミアム相当額 19,881,714円 ■販売・換金等事務委託費 6,400,000円 合計 26,281,714円 ■飲食券取扱店舗数 158事業所	飲食券販売者 数の 約10,000人	飲食券販売者 数の 約10,000人
17	単	プレミアム付飲食券 取扱事業者支援事業	商工観光課	① 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、プレミアム付飲食券の発行にむけて、市内飲食店等に対し、空気清浄機や飛沫感染防止アクリル板等、感染症対策用品等の購入費の一部を助成する。 ② 感染症対策用品の購入に係る経費 ③ 助成金 5,800千円 上層50千円(5/31まで、補助率4/5) →2件、76千円 上層100千円(6/1~6/30補助率4/5) →70件、5,140千円 ④ 本市が発行するプレミアム付飲食券取扱店	R3.5	R3.8	5,218,000	5,218,000	0	5,218,000	0	0	0	0	■5/31までの助成(補助率4/5・上層50千円) 助成金額 計78千円(2事業所分) ■6/1~6/30までの助成(補助率4/5・上層100千円) 助成金額 計5,140千円(70事業所)	感染症対策 飲食店数 60事業所	感染症対策 飲食店数 72事業所
18	単	公共施設感染症対策 (自動水栓化)事業	財政課	① 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、市民等に広く利用されている公共施設等(緑山運動公園及び夜間開放施設)において、手洗用自動水栓の一部を自動水栓に切り替える。 ② 自動水栓切替工事に係る経費 ③ イ 公園及びコミュニティセンター60箇所 ロ 緑山運動公園42箇所 ハ 夜間開放施設18箇所 ニ 第一分庁舎 4箇所 イ+ロ+ハ+ニ=9,669千円 ※イ+ロ+ハ+ニ=8,745千円 ※ニ = 4箇所: 924千円 ④ 魚津市長	R3.8	R4.1	9,669,000	9,669,000	0	9,669,000	0	0	0	0	■実施箇所 ①公園及びコミュニティセンター60箇所 ②緑山運動公園42箇所 (野球場3、運動広場5、テニスコート3、遊具広場4、競技場11) ③夜間開放施設18箇所 (旧大町小2、旧上中島小2、旧松島小2、旧上野小3) (鳥の島小3、まつた小4、道内小2、緑田小1、西中、東中6) ④第一分庁舎トイレ改修4箇所(男子便所を2箇所削減し4箇所自動水栓化) ■工事費 ①~③13箇所 8,745,000円 ④4箇所 924,000円 合計 9,669,000円	自動水栓に 切り替えた 公共施設 27施設 (135箇 所)	自動水栓に 切り替えた 公共施設 27施設 (135箇 所)
21	単	中学校環境整備事業	教育総務課	① 市内中学校にある音楽室において、その部屋の性質や、児童生徒への観音として適切であると見做す必要があることから、密閉空間における新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を図るため、既存の空調機器をコロナ対策に効果的な空調機に交換する。 ② 空調整備費 ③ 中学校・音楽室(2箇所)空調整備(4台分)7,172千円 ④ 魚津市立東部中学校	R3.7	R3.9	7,172,000	7,172,000	0	7,172,000	0	0	0	0	■実施箇所 東部中学校・音楽室(2教室) ■空調整備費 7,172,000円	空調整備施設 2教室	空調整備施設 2教室
22	単	体育施設感染症対策 事業	生涯学習ス ポーツ課	① 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、市民等に広く利用されている緑山運動公園及び夜間開放施設において、和式トイレを飛沫感染防止に効果が期待できる洋式トイレに改修する。 ② 洋式トイレ改修工事費 ③ 13箇所×500千円/箇所=6,500千円 緑山運動公園・運動広場(12箇所) 夜間開放施設 旧大町小学校(1箇所) ④ 市内運動施設	R3.11	R4.3	5,940,000	5,940,000	0	5,940,000	0	0	0	0	■実施箇所 緑山運動公園14箇所 (運動広場4、遊具広場2、競技場8) 夜間開放施設3箇所 (旧大町小学校2、西部中学校ロティ1) ■工事費 5,940,000円	洋式トイレに 切り替えた 体育施設 2施設 (緑山運動公 園・旧大町小 学校・西部中 学校)	洋式トイレに 切り替えた 体育施設 2施設 (緑山運動公 園・旧大町小 学校・西部中 学校)
27	単	中小企業活性化支援 事業	商工観光課	① 市内事業者における新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、市の「感染症対策宣言」登録事業者に対して、一層の感染拡大防止に貢献してもらおう、「感染症対策宣言」を支援する。 ② 「感染症対策宣言」登録事業者に対する感染症対策支援 ③ 1事業者あたり100千円 100千円×1,089事業者=108,900千円 ④ 市内事業者で市の「感染症対策宣言」登録事業者	R3.9	R3.10	108,900,000	108,900,000	0	108,900,000	0	0	0	0	■感染症対策宣言登録事業者数 1,149事業所 (うち支援金交付:1,089事業者) ■支援金支給額 108,900千円	感染症対策宣 言登録事業 数 950事業所	感染症対策宣 言登録事業 数 1,089事業 所 (うち支援金 交付:1,089事 業所)

30	小	小学生等感染症対策支援事業	こども課	① 新型コロナウイルス感染症の対策である小学生以下の児童を対象に、マスクや消毒液といった感染症対策用品の購入を支援する。 ② 児童1人あたりミラベイポイント（電子地域通貨）10千円分を支給 ③ 34,800千円 3,280人×10千円+事務費2,000千円 ※事務費：封筒代：49千円、用紙代：100千円、郵送料：1,491千円、決済手数料：360千円 計2,000千円 ④ 令和3年8月1日時点で市内に住所を有する小学6年生以下の児童	R3.8	R4.3	34,493,705	34,493,705	34,493,705	<ul style="list-style-type: none"> ■ミラベイ支給数 3,280人 ■ミラベイ利用実績 32,515,102円 ■ミラベイ発送料 1,490,400円 ■ミラベイ決済手数料 328,000円 ■チラシ印刷費等 160,203円 合計 34,493,705円 	電子地域通貨支給完量数 3,600人	電子地域通貨支給児童数 3,280人
35	小	コロナ禍における福祉燃油助成事業	社会福祉課	① 原油卸売価格の高騰により、市民の生活必需品である灯油やガソリンの価格が上昇しており、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けている低所得者にとって家計の負担となっていることから、低所得者に対して灯油等の購入費用を助成する。 ② 灯油等購入費の助成（ガソリン、軽油も含む。） ③ イ 3,900世帯×5,000円＝19,500千円 ロ 事務費・印刷紙本費 429千円 ： 郵送料 2,028千円 ： 消耗品代 10千円 イ+ロ＝21,007千円 ④ 急遽市民（3,900世帯を想定） ※R3.12.1時点の住民税非課税世帯・生活保護受給世帯	R3.12	R4.3	13,776,711	13,776,711	13,776,711	<ul style="list-style-type: none"> ■助成券換金額 11,604,500円（500円券×23,209枚） ■助成券印刷費 359,580円 ■助成券郵送料 1,740,077円 ■消耗品費 72,544円 合計 13,776,711円 	灯油等購入助成世帯数 3,900世帯	灯油等購入助成児童数 3,118世帯 （配布世帯数）
37	小	小・中学校ICT活用推進事業	教育総務課	① コロナ禍によるデジタル化を推進するため令和2年度中導入した児童生徒へ1人1台ずつ配備したタブレット端末をさらに活用し、授業や家庭学習での活用を推進するとともに、教員の負担を軽減するため、電子ドリル（家庭や家庭学習で使用することができ、Wi-Fi環境のない家庭でも使用可能）及びフィルタリングソフト（家庭でのタブレット端末の利用に際し、目的外の使用を防止）を導入する。 ② 電子ドリル及びフィルタリングソフト購入費 ③ イ 電子ドリル 14,466千円 （小学校：10,296千円、中学校：4,160千円） ロ フィルタリングソフト 7,041千円 （小学校：5,029千円、中学校：2,012千円） ④ 市内小中学校	R4.1	R4.2	19,360,000	19,360,000	19,360,000	<ul style="list-style-type: none"> ■電子ドリル 小学校：9,515,000円 中学校：4,021,000円 ■フィルタリングソフト 小学校：4,160,000円 中学校：1,664,000円 合計 19,360,000円 	電子ドリル等導入学校数 7校	電子ドリル等導入学校数 7校